

U30 都市計画・都市設計提案競技

道後温泉 移動風景の再生と展開

歴史的観光地，更新，火事・防火，耐震，外湯文化

応募要領

風景づくり夏の学校 2014 では、特別講義に建築家青木淳氏、都市計画家後藤春彦氏、現地特別審査委員に建築家内藤廣氏と松山市長を迎え、道後温泉地域を対象敷地に、U30 の都市計画設計提案競技を行います。



主催：UDCM（アーバンデザインセンター松山）

東京大学復興デザイン研究体

後援：道後温泉誇れるまちづくり推進協議会

道後温泉旅館協同組合、道後商店街振興組合、

公益社団法人日本都市計画学会、松山市

1. 実施概要

愛媛県松山市に位置する道後温泉は、外湯文化の再生に取り込んでいる日本最古の温泉地ですが、地域には道後温泉本館をはじめとする多くの木造建築群を抱えると共に、過去の南海地震では源泉が数か月間止まるなど、中長期的な地域リスクを抱えている地域です。また、一遍上人の寶厳寺が昨年焼け果て、温泉本館の耐震工事にも7年・10年を要することから観光客の足が遠のくことも予想されています。

今回の都市計画・設計提案競技では、火災や地震といった道後温泉を取り巻く災害リスクと地域構造の変化を理解したうえで、お遍路さんをはじめ多くの旅人を癒しもてなしてきた外湯文化を育んできた街路や広場といった道後に固有の空間構造にもう一度目を向けることで、道後地区を中心とした移動風景を再生させていくための地域デザインの提案を募集します。

2. 主催・後援

- ・主催：UDCM（アーバンデザインセンター松山）
東京大学復興デザイン研究体
- ・後援：道後温泉誇れるまちづくり推進協議会
道後温泉旅館協同組合、道後商店街振興組合、
公益社団法人日本都市計画学会、松山市

3. 要求図書

- (1) PDF パネルデータ (A1×2) ※1次審査時 (9月13日17:00まで) に提出
- (2) パネル (A1 ボードに貼り付けたもの) ×2 (※9月19日審査会当日持込)
- (3) 模型 (※9月19日審査会当日持込)

4. 提出締切・審査

- ・1次提出締切 9月13日(土) 17:00 必着 PDF形式パネルデータ
- ・発表審査 9月19日(金) A1パネル×2枚、模型

※1次提出のPDFデータはメールでの提出が可能です。

※ 書類による1次審査を行い、結果を代表者にメールで連絡します。

※ 1次審査通過者は、9/19-20の審査会に1チーム1名以上参加してください。

※ 1次審査通過チームの代表発表者（1名）には旅費を実費支給すると共に、チーム参加者についても滞在費の補助を行います。

5. 応募資格

大学、大学院、高等専門学校及び専門学校に在籍している学生及びU30（2014年4月1日時点で30歳以下）の若手建築家・都市計画家・土木技術者で構成される2名以上のグループを対象とする。ただし、第1回、第2回（第8項プログラム参照）にグループの代表者1名が少なくとも参加できること。

6. 参加申込

(1) 参加申込締切：7月21日（月）17:00 必着

(2) 参加申込先：seminar@bin.t.u-tokyo.ac.jp

(3) 申込内容：グループ代表者の連絡先及びグループ全員の氏名、所属、年齢（2014年4月1日時点）、現地説明会（7月29日@道後地区）への参加人数

※ 申込多数の場合、1次審査をもって最終発表参加グループを選定させていただきます。

※ 申込手続きの完了した方には、その旨をメールにて連絡させていただきます。

※ 申込後のメンバー追加については認められません。

(4) 参加費：無料（※説明会参加に伴う交通費、提出物作成費は自己負担）

(5) 賞：審査委員会により、最優秀賞、優秀賞、市長特別賞、奨励賞などを審査します。
また、最優秀賞受賞者には今後の道後の地域デザインへの参加の権利が与えられます。

7. 応募図書取り扱い

(1) 主催側は、提案者の氏名、作品、及び審査結果をWeb上、課題対象地の自治体に通知します。

(2) 応募者作品の著作権は応募者に帰属しますが、主催側は提案作品の発表・書籍化、自治体計画への活用などにおいて自由に使うことができます。

8. 日程

- (1) 参加申込期間：7月1日（火）～7月21日（月）17:00（※締切時間厳守）
- (2) 課題説明会：7月26日（土）
- (3) 現地説明会：7月29日（火）
- (4) 質疑受付期間：7月26日（土）～8月4日（月）
- (5) 一次提出期間：9月1日（月）～9月13日（土） 17:00（※締切時間厳守）
- (6) 発表審査会：9月19日、20日（金・土）

9. プログラム

【第1回：課題説明会・講義】

日時：2014年7月26日（土） 9:30 - 18:00

会場：東京大学本郷キャンパス工学部1号館15号講義室

- 09:30～10:00 主催者挨拶・コンペ趣旨等説明 : 羽藤英二（東京大学）
- 10:00～12:00 特別講義 青木淳・後藤春彦
- 12:00～13:00 （休憩）
- 13:00～14:00 復興デザインスタジオ
- 14:00～14:20 （休憩）
- 14:20～14:50 「道後の地域史を読み解く」：片岡由香（愛媛大学 UDCM）
- 14:50～15:20 「地域デザインを読み解く」：山口敬太（京都大学）
- 15:20～15:50 「土木デザインから考える」：吉谷崇（設計領域）
- 15:50～16:20 「空地を生み出すデザイン」：黒瀬武史（東京大学）
- 16:30 終了 おわりに：松本啓治（愛媛大学 UDCM）

【第2回：発表審査会】

日時：2014年9月19日（金）、9月20日（土）

場所：松山市道後地区

（※集合場所、時間については決定次第 HP 上に掲載いたします。）

9月19日（金）

1000-1700 松山一般見学・審査

講演 藤田香織（東京大学） 「木造建築の風景」
窪田亜矢（東京大学） 「地域デザインの展開」

9月20日（土）

1000-1200 基調講演 内藤廣 「風景の時代（仮）」

1300-1700 講評会

10. 現地説明会（松山市道後地区，希望者のみ）

※別途，希望者向けに道後地区松山市にて現地説明会を行います。参加を希望される方はその旨と参加人数を申込時にあわせてお伝え下さい。

※説明会でご質問いただくことは可能です。また質疑内容、見学会の様子については後日HPで公開しますので、参加されない場合でも説明会の情報は得られます。

日時：2014年7月29日（火）13:00-16:30

集合時間・場所：13:00（※時間厳守） 道後温泉駅前放生園（からくり時計前）

会場：道後温泉椿の湯2階会議室

※会場への入館にはスタッフの同行が必要です。必ず上記集合場所への集合時刻を厳守してください。

1315-1500 地区説明

1. はじめに（事務局）
2. 「道後地区空間計画の変遷」（松山市都市整備部）
3. 「地元が考える道後温泉のまちづくり」（道後温泉誇れるまちづくり推進協議会）
4. 「道後温泉の観光施策」（道後温泉旅館協同組合）
5. 「道後の観光と歴史」（道後温泉観光ボランティアガイド）
6. 質疑・見学準備

1500-1630 現地見学

※松山市道後温泉事務所職員の案内のもと、少人数グループに分かれて道後地区のまちあそびを行います。

1630（予定）現地解散

11. 質疑応答の方法

- ・ 質疑は、文書（A4 用紙 1 枚以内、縦使い、横書き、10.5pt 以上）によるものとします。
- ・ 質疑受付期間に E-mail で事務局宛に提出してください。郵送、電話、Fax でのお問い合わせは一切受け付けません。
- ・ いただいた質疑に対する応答書は、後日 HP 上に公開します。
- ・ 応募要領及び参考資料に記載されていること、講師陣・現地説明会の発表内容に対する質疑、事務局で答えられない範囲の内容については、応答することができませんので、あらかじめご了承ください。

12. 審査委員会

審査委員長： 羽藤英二（土木）、

審査委員： 後藤春彦（都市計画）、内藤 廣（建築/都市）、藤田香織（建築/構法）、窪田 亜矢（景観/地域）、大木正治（道後温泉旅館協同組合理事長）

特別審査委員：野志克仁（松山市長）

13. HP と参考資料

HP： <http://bin.t.u-tokyo.ac.jp/dss/>

参考資料：対象地区の図面（白地図）、基礎情報、松山市の都市計画についての資料は、HP 上に随時アップしていきます。

質疑：また、現地説明会で行われた質疑内容、現地説明会の様子についても HP に更新します。

風景づくり夏の学校 2014 事務局

seminar@bin.t.u-tokyo.ac.jp（お問い合わせはこちら）